

20171216 憲法 9 条守る 憲法闘争全県連代表者会議への 行動提起

2017 年 12 月 16 日
全日本民医連理事会

憲法 9 条守る運動推進の各県連責任者・幹部のみなさん！

安倍首相は 9 条改憲を選挙公約の重点に掲げたにもかかわらず、総選挙中は街頭演説でほとんど触れませんでした。しかし、選挙結果で「改憲勢力」が 3 分の 2 をしめたことを受けて、「国民の信任を得た」と急速に 9 条改憲への意欲を高めて、本気で動きを加速しています。

第 4 次安倍政権 20 人の閣僚中 19 人が靖国派の議員です。11 月 28 日の改憲右翼団体「日本会議」と国会議員懇談会の設立 20 周年記念大会では、安倍首相が改憲への意欲を示すメッセージを寄せ、自民党憲法改正推進本部顧問の下村博文元文科相が「来年の通常国会にはわが党として憲法改正発議ができる、それを憲法審査会で（改憲案を）提案できるよう頑張る」と表明、一体となって、「いよいよ我々は、憲法改正実現のための正念場を迎えている」とする宣言文を採択しています。この大会には希望の党、日本維新の会の国会議員も参加しています。

9 条改憲は安倍首相がすすめてきた「戦争する国づくり」の総仕上げです。自衛隊が憲法 9 条に明記されれば、「後法優位の原則」によって 9 条 2 項が死文化し、文字通り海外での武力行使が無制限になります。これは戦後、憲法に基づいて築いてきた平和な日本を根本から変えるものです。「緊急事態」が宣言されれば、基本的人権は否定され、医療など社会保障は戦争遂行のために必要な枠組みに再編されます。

私たち民医連は、綱領に憲法の国民主権と平和的生存権、基本的人権の理念を高く掲げており、安倍 9 条改憲は、民医連の綱領の否定でもあります。断固阻止しなくてはなりません。9 条改定案の国会発議を絶対に許さないこと、そして安倍 9 条改憲の極めて危険な本質を国民多数の認識にしていけることが、今最大の課題です。そのためになんとしても 3000 万署名の目標をやりきるため、幹部のみなさんが文字通り全職員の立ち上がりに責任を持ち、先頭に立つ決意を固め合いましょう。

【行動提起】

1. すぐに臨戦態勢をとり、年内から大きな動きをつくろう

すべての幹部がチャレンジャー登録し、先頭に立って牽引する構えを確立しましょう。

①まず幹部が安倍 9 条改憲の危険性を改めてしっかり学習し、すべての幹部がチャレンジャーに登録しよう（年明けまでに 50 筆、総会までに 100 筆、上乘せ目標など）

②年内から署名推進の臨戦態勢を確立する（推進体制、集約体制、ニュース発行など）

③県連、法人の目標・方針に基づいて、全職場、全職員の具体的な課題を提起する

例：全職員がとりくみの第一歩としてまず自分が署名しよう

年末年始の帰省なども利用して家族や親類、友人などから 5 筆集めよう

力持ちの職員は、あらゆるつながりを活かして目標を上乘せしよう

④共同組織と協議して、達成に向けた目標を共有する。共同の行動も計画しよう

2. 学習を重視しよう

一人ひとりの職員が、安倍 9 条改憲の危険性や署名の意義をつかみ語れるよう、職場での学習を重視しましょう。また共同組織の班会等でも学習を位置づけましょう。幹部は積極的に講師を担いましょう。

①すべての職場や共同組織の班会などで DVD を視聴し、憲法会議のリーフなどを活用して学習する

②民医連新聞なども活用してあらゆる会議で 5 分間・10 分間学習を行う

③職場で、署名にとりくむ中で聞いた声、街頭署名での体験など交流し、答えられなかった質問には職場学習で解決しながら、次の行動に活かそう

3. あらゆるつながりを活かすとともに、外に向けて従来の枠を超えてとりくもう

全地域を視野にいれて、3000 万署名にふさわしく地域ぐるみで署名を推進するために様々な個人・団体との共同を拓きましょう。

- ①計画を立て、患者さん・利用者さんや家族にはすべて当たりきる
- ②幹部を先頭に、民医連以外の医療機関や介護事業所、日頃のつながりのある事業者はもちろん、これまでつながりのなかった団体などにも要請に行く
- ③全地域を視野に、地域訪問行動やローラー作戦も設定しよう
- ④医師が署名活動に参加しやすいよう、医師のメッセージや署名、返信封筒を外来にセットするなど、工夫しよう
- ⑤その他、青空健康チェックとあわせた署名行動、商店街へのポスター貼りだしと署名を置いてもらう協力要請や、高校・大学前での宣伝署名行動など、幅広い行動を計画しよう

4. 全日本民医連のとりくみ

- ①目標と達成のテンポ
2018 年 2 月総会まで ……200 万筆
2018 年度末（3 月末） ……250 万筆
2018 年 4 月末 ……300 万筆
- ②集約体制
年明けから月 2 回、署名の到達と特徴的なとりくみの集約を行います。
集約日：第 1 週・第 3 週火曜日
- ③ニュース発行
各地のすすんだ経験や教訓をニュースで普及します。県連や法人のニュースをお寄せください。
- ④署名 Q & A
街頭署名宣伝などでよく出る質問「自衛隊は災害救助でも活躍。憲法に書き込んでもいいのでは？」
「北朝鮮のミサイルが心配。緊急事態条項は必要では？」にどう答えるか、ポイントをまとめましたので、ご活用ください。
- ⑤医療・介護・福祉関係者向けリーフの作成について
保団連、医労連、医療介護福祉の会とともに、新たに医療・介護・福祉関係者向け憲法リーフを作成中です。完成後、改めてご案内しますので、積極的にご活用ください。

5. 名護市長選挙支援について

安倍政権のアメリカ追随、日米軍事同盟強化のもとで、名護市の辺野古新基地建設強行を阻止することは、アメリカとともに海外で戦争する国づくりをストップさせ、普天間基地即時撤去、オスプレイ配備撤回を実現する道につながります。2 月 4 日投票の名護市長選挙で、「海にも陸にも新しい基地は造らせない」との公約を貫く稲嶺進市政の継続実現に向けて、全国からの連帯・支援を強め、必ず勝利しましょう。

6. その他

『安倍 9 条改憲 NO! 憲法を生かす社会をつくろう 3000 万署名成功めざす交流集会』

首都圏から多くの参加をよびかけます。全国からも代表派遣をお願いいたします。

日時 2018 年 1 月 27 日(土)11:00～16:00

会場 日本教育会館 8F 大会議室

主催 戦争する国づくりストップ! 憲法をまもり・いかす共同センター

以上